



学校だより

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/yokohamafukuyadai>

令和5年4月28日

5月号

横浜市立横浜深谷台小学校

校長 角井 治朗

木々の成長と共に

校長 角井 治朗

学校の周りの木々には鮮やかな新緑が広がるようになり、季節の移り変わりを感じます。気温が高くなる日も増えおり、熱中症が心配される時期にもなりました。学校の教育活動におけるマスクの着用はそれぞれの判断に委ねられてはいますが、屋外での運動時などでは熱中症への対応が優先されることから、場面によっては積極的にマスクを外す声掛けも進めていきます。これから増々暑くなっていく時期のマスクの取り扱いについて、改めてご家庭でもぜひ話し合っただけければと思います。

さて、先日24日（月）に、本校の創立記念式が行われました。入学した1年生も加わり、全校児童が体育館に集まり、横浜深谷台小学校の誕生や昨年度行われた創立5周年記念事業のこと、そして校歌や校章に込められた意味などのお話を聞きました。また、4年生からは、学校のことを分かりやすくまとめたクイズや発表があり、改めて私たちの学校のよさをみんなで確かめ合う場になりました。これからさらによりよい学校にしていくために、私からも子どもたちに3つのことを大切にしてほしいと話しました。それは、「知る」「考える」「行動する」です。今回の記念式のように、これまでの歴史やそこに込められた思いを「知ること」はとても大切ですが、知って終わりではよい伝統は引き継いでいかれません。一人ひとりがその背景にある意味やわけを理解したり、自分にできることを考えたりして、具体的な行動に移すことを大切です。子どもたち自身が、「こんな学校になったらいいな。」を意識して、目を輝かせて活動する姿が見られる学校にしたいと思っています。

昨年度末、長年にわたって本校のシンボルツリーとなっていたサクラ（ソメイヨシノ）の木とお別れをしましたが、新年度のスタートにあたり、6年生が代表として新たなサクラ（ジンダイアケボノ）を植樹しました。また、ちょうど同じタイミングで、伐採したソメイヨシノの切り株のわきからも新しいひこばえが伸びてきました。この新しいサクラの木々の成長とともに、子どもたちがすくすくとたくましく成長し、新たな学校の歴史が積み重なっていくことを楽しみに、それぞれの成長を見守っていきます。